

令和2年度 木更津市生涯学習推進協議会第1回書面会議 議事録

- 1 日 時 令和2年9月10日（木）
- 2 出席者 （敬称略）
委 員：佐久間研二、山口進、清水正夫、桐谷和美、藤寄保、橋詰清、
長谷川宏美、住江祐輔、平野正善、小林路秋、安藤順子、桂啓之（12名）
- 3 協議事項
（1） 本会の会長及び副会長の選出について 結果：賛成12名、反対0名
- 4 資料
（1） 会議次第（資料）

委員からのご意見

清水正夫委員

現在木更津市では15館の公民館が地域住民の学習とコミュニティづくりの拠点、更には防災拠点として役割を果たしています。

社会教育の推進としての大きな意義があるにしても公民館が抱える問題も生じています。現状として

- ・人と人とのつながりの希薄化
- ・人口密集地帯・新移住者地区と公民館設置の不一致
- ・公民館の老朽化 等

基本目標・施策に関して、ほとんど同意していますが要は立派な目標をあげても実効性が伴わなければ意味がありません。

開かれた学習の拠点として魅力を感じる様に持って行くことが重要と思います。

藤寄保委員

魅力ある図書館というのは、ちょっと興味があります。本を貸すだけではない図書館が最近あちこちにできています。

そんな図書館ができると、文化的の高さを感じる町になるような気がします。

事務局からの回答

ご意見をいただきありがとうございました。

いただきましたご意見をもとに、今後の社会教育の推進、地域の実情に即した図書館運営に努めてまいります。